



こころの健康

教えてドク太くん!



千葉県医師会
もりもと こうじ
森本 浩司 医師

統合失調症について —その1 病気の始まりを知る—

早期に気づくことが大切!

「早期発見・早期治療」は、その後の生活や人生を変えるかもしれない

Q どんな病気なの?

脳の機能の一部がうまく働かなくなる病気で、発症の原因はまだ十分わかっていません。ただし、例外はあるものの、「早期発見・早期治療」がとても有効であることは確かなようです。

10代後半から30代という比較的若い世代に発症しやすいため、きちんと治療をしないと、その後の生活や人生への影響がとても大きくなります。

遺伝については、統合失調症になりやすい傾向は受け継ぐことがあります。が、「遺伝する」とまではいえません。

Q 具体的な症状は?

統合失調症の症状は分かりにくいのですが、以下の症状があることをあらかじめ知っておくと、それだけで自分自身も周りの人もこの病気気づける可能性が高まります。

ただし、一般的な体の病気の「症状」とは同じようにとらえられないことが多いので、少しの変化も見逃さず、心配な時はとりあえず医師に相談することが大切です(精神科へ)。

実際には様々な経過をたどりますが、よく見られる例を示します。

I. 早い段階で起こること

- ① 気分が不安定で、不眠がち。焦りの気持ちが強くなる
- ② 何かが差し迫って圧迫されているような感じ
- ③ 光や物音に敏感になる
- ④ はっきりとわからないくらいの幻聴らしきものがある
- ⑤ 自分の周りが何となくいつもと違うように感じる
- ⑥ 今まで自然にできていたことが自然にできなくなる など

II. その次に現れる現象

- ・ 聞こえないはずの音が聞こえる(幻聴)
- ・ 自分を批判するような音が聞こえる
- ・ 幻聴同士が会話している音が聞こえる など
- ・ 現実ではなかったり誤っていたりする考えにとらわれてしまう(妄想)
- ・ 咳ばらいをしたのは、自分が嫌いだからだ
- ・ 街ゆく人が自分を見ている など
- ・ ふだんの調子と異なることは認識できるが、自分が病気だと認識することが難しい。

※注) 幻覚や妄想があったら必ず「統合失調症」というわけではありません。

Q 完治するの?

ほとんどの場合は長期にわたる治療が必要です。ただし、数は多くありませんが、ごくまれに治癒することもあります。

みなさんに伝えたいこと

早期に気づければ、その後の生活や人生を変えることができるかもしれない!!

統合失調症は「痛い・かゆい」など、日常会話に出てくるような症状が少ないため、本人ばかりか、周りの方もはじめのうちは本人以上に気づきにくいかと思えます。しかし、先に挙げた症状があることをあらかじめ知っておくと、本人も周りの方も病気に気づける可能性が高まると思えます。



**早く見つけることが
大切!**

